

播磨町まちづくりパートナー事業

▶問合せ 企画グループ ☎079 (437) 0356

播磨町まちづくりパートナー事業とは、地域や町の公益のための事業を経費の一部の補助を受けながら行政と協働で取り組む事業です。

令和4年度は、「はりまあるチャイルドケア」と、「企業組合労働センター事業団」が活動します。今回は、「はりまあるチャイルドケア」の活動についてお知らせします。

播磨町まちづくりパートナー

はりまあるチャイルドケア

▼問合せ はりまあるチャイルドケア

(代表 七瀬悠子)

Eメール h.childcare797@gmail.com



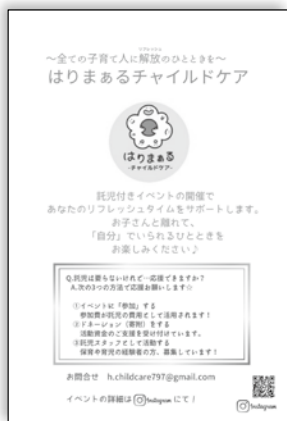
はりまあるチャイルドケア問合せ・申し込み

はりまあるチャイルドケアは、播磨ゆめづくり塾の採択を受けて活動していた「まちの居場所 はりまある」の中で生まれた、子育て支援に特化した団体です。

「すべての子育て人にリフレッシュのひとときを」をコンセプトに、託児付きイベントの開催をメイン事業として活動しています。

令和4年度採択事業 「子育て人のリフレッシュ 応援事業」

月に数回、託児付きのヨガやズンバ、料理教室などを実施します。また、必要に応じて託児ができる体制の整備を目指して、託児スタッフができる人材の募集や育成を行います。



Instagram

託児スタッフを募集します！

私たちの思いに共感し、託児スタッフとして活動を支えてくださる保育・育児経験者の方(資格の有無は問いません)を募集しています。

詳細は、応募・問い合わせの返信にてお知らせします。

自治会長研修会が開催されました

播磨町には自治会が45団体あります。45自治会からなる組織が播磨町自治会連合会です。今回は自治会連合会で開催した自治会長研修のレポートです。

まちアド通信

企画グループ
☎079 (435) 0356

まちづくりアドバイザーがお届けする

自治会連合会では年に数回、自治会長が集まって、自治会運営に関する研修会を開催しています。6月11日に今年度はじめての研修会が中央公民館大ホールで開催されました。研修会では、講師や行政の話聞くだけでなく、他の自治会長と話し合うことで、自治会長同士が顔見知りになる機会としていきます。過去の開催では、自治会長が気になるテーマ(防災、自治会役員、ごみステーション、自治会未加入など)ごとに話し合っていました。今年度は自治会の世帯規模ごとにグループを分け、話し合う時間をもうけました。例えば、自治会で開催されているいきいきフォーラムの開催方法や、夏や秋のまつりの開催はどう判断するかなど、コロナ禍を経て、これからの自治会行事をどうしていくかについて話し合いが進んでいました。今年度は自治会や地域の行事も徐々に開催されつつありますが、2年間活動が無かったため、行事や活動を再開させるのに時間がかかっている印象を受けます。

このように自治会長同士が顔を合わせる機会は、4つのコミセンごとにも会合があります。地域活動をすすめるには横のつながりが大切だと考えています。これからは、顔見知りになり、気軽に相談でき、場合によっては一緒に活動するなど、ゆるやかなつながりが大切でしょう。



自治会連合会研修会

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。